クリスマスバザー反省

＊前日準備

同級生（５２回生）が援助してくれた。

前日準備は、机・椅子のレイアウト、備品・販売品搬入の他、コーヒーマシンの試運転と、役員３名だけでは無理がある。

支援がなければ成り立たない。この点は検討すべき点かもしれない。

今年は飾り付け用品の搬出入を食堂班が担当してくれたため、とても助かった。本当にありがたかった。

＊当日

当日券を活用し、食券売場／現金を扱う場所（喫茶入口）と商品提供の場所を別にしたのは良かった。

廊下や入り口の動線は、事前に食堂班と打ち合わせ、シュミレーションしており、大きな混乱がなかった。

今年は調理パンも食券を作り、テントで当日券を売ることができたことで、パン販売の広報効果が高まった。

当日券の比重を多くしたので、特にサンドイッチやお弁当が売り切れた後に食べるものがなくて困る方のためという、本来の役割を果たせたと思う。

午後パンとコーヒーの販売が好調だったが、食券分の確保が曖昧で、午後の出張販売の際混乱してしまい、お客様に迷惑をかけた。

体育館での出張販売は、需要がある。

朝と午後の予定だったが、販売時間を表示するのを忘れた。（伊藤さんが言ってくださっていたのに）

コーヒーは館内で飲めないため、買いたいが買えないと言われた。

お手伝いの幹事の方も皆さん積極的に動いてくださった。

厚生部さんのお手伝いの方のスケジュール配分が良かった。

朝一番は商品の陳列とお湯の準備があり、終了後はすぐに生徒が楽器を運び入れるため、清掃中に早急に備品を談話室まで搬出しなければならないが、機敏に動ける方々でとても助かった。（途中のお手伝いの場合は、来客が多く忙しいが、食券売り場など座って出来る役もあるので、次年度のお当番の参考に）

プチ会長ショップの購買者は少ない、ただし混んでいないので、ゆっくり見られる方が多く、みこころ会グッズの宣伝にはなる。

ゼリーはケースが可愛く生徒が欲しがったが、高くて買えないと言われた。

＊後片付け

荷物を談話室に運び入れた後で、マシンやポット等備品の洗浄と片付けを行うため、どうしても時間がかかる。本来は他の担当部署の方のお手伝いをお願いし、皆と同じ時間に終了できるようにしなければならなかった。

一昨年は役員会で伝えられたが周知されず、どなたも来なかったことを失念していた。きちんとメールか文章でお手伝いをお願いしておかなければならなかったと反省。